

競技団体・地域スポーツ団体における現状と課題

(公財) 京都府スポーツ協会

1 現 状

- 地域団体において、行政との関係が希薄になりつつある。
- どの団体も会場確保に苦慮している。府立施設の優先使用の希望が多い。
- 組織の形骸化・高齢化が進んでいる。
- 総合型クラブは社会的認知度が低迷（知らない約7割）

2 課 題

- (1) 少年スポーツクラブと地域が連携できていない。
- (2) 幼児期から小学生年代が自発的に運動を取り組める機会が少ない。
- (3) 地域スポーツ団体への帰属メリットが意識されにくい。
- (4) 京都府における「ご当地スポーツ」の存続が危ぶまれている。
(子どもの人数減少等による)
- (5) 行政やスポーツ協会として把握できないクラブの掌握が必要。
- (6) クラブ運営スタッフ、指導者等の人材不足や活動場所・財源確保が喫緊の課題である。

3 今後の方向性

- 公的機関と住民組織や民間団体等が、地域スポーツの支援の在り方について学び、多方面からサポートする機能強化を図る。
- 地域スポーツの中で、活動場所を確保するとともに各自治体の関係者（団体）との連携を強化する必要がある。

(別表1) 【スポーツ少年団：当該競技種目を行っているところ】 *令和5年度スポーツ少年団年表より

競技種目	活動している地域	団員数
合気道	木津川市	13人
ホッケー	京丹波町	22人
トランポリン	長岡京市	16人
バドミントン [※]	八幡市	33人
新体操	京田辺市・大山崎町	68人・29人
テニス	宇治市・長岡京市	10人・14人
ソフトテニス	八幡市・亀岡市	34人・35人
柔道	八幡市・舞鶴市	50人・42人
ラグビー	木津川市・八幡市・福知山市	51人・18人・41人
ソフトボール	宇治市・城陽市・長岡京市・木津川市	11人・8人・12人・23人
ドッジボール	亀岡市・木津川市・大山崎町	14人・21人・18人

(別表2) 【少年スポーツクラブ：当該地域で1つだけ活動しているもの】

市町村別（地域）	種目・競技（会員数）
大山崎町 ^注	ソフトボール（18）、ドッジボール（12）、エアロビクス（18）、フェンシング（30）
城陽市	ソフトテニス（12）、陸上競技（28）、卓球（37）、バドミントン（10） 少林寺拳法（11）
木津川市 ^注	なぎなた（14）
久御山町	バドミントン（19）、サッカー（21）、剣道（14）
宇治田原町	軟式野球（8）、バスケットボール（30）、サッカー（30）、剣道（12）
精華町	軟式野球（41）、ソフトテニス（27）、バスケットボール（14）、剣道（45） 体操・新体操（34）、ドッジボール（24）
相楽東部広域連合	軟式野球（10）、サッカー（13）、
綾部市 ^注	ボウリング（25）、スキー（39）、柔道（10）、空手（45）
伊根町	サッカー（20）、バレーボール（3）、陸上競技（8）
京丹後市	少林寺拳法（14）、カヌー（11）、スキー（3）レスリング（19）

注）大山崎町、木津川市と綾部市はスポーツクラブ

(別表3) 【市町村別スポーツクラブ数】(R5.3.31現在) *別表2・3は京都府の体育・スポーツより

	クラブ数	(比率)	会員数	(比率)
スポーツ少年団	*293	(8.6%)	*6,731	(10.8%)
総合型クラブ	*27	(0.8%)	*807	(1.3%)
少年スポーツクラブ	291	(8.5%)	5,801	(9.3%)
既存クラブ	2,795	(82.0%)	49,144	(78.7%)
総計	3,406		62,483	

*京都市除く